

才女気質 (1959)

メディア 映画
ジャンル コメディ
製作国 日本
色彩 B&W
時間 87分
初公開日 1959/04/15
公開情報 日活

【解説】

田口竹男の戯曲『賢女気質』を、新藤兼人が脚色し中平康が監督したコメディ。昭和30年代の京都の風俗がふんだんに盛り込まれている点にも注目。出演者では轟夕起子の演技が目を引く。

京都で三十年以上営業している表具商の松江堂。店を切り盛りしているのは、気弱でずぼらな主人の市松ではなく、勝ち気でしっかり者の女房・登代だった。彼らの長男は戦争で死亡しており、今は次男の令吉、長女の宏子と一緒に暮らしていた。登代は令吉の縁談を進め、息子夫婦を自宅の離れに住まわそうとしていた。そのため、離れに住んでいるスミを追い出そうとする。勝ち気な登代は令吉の妻である久子に対しても冷たく当たってしまい、久子は実家に帰ってしまう。

【クレジット】

監督 中平康
企画 大塚和
原作 田口竹男
脚本 新藤兼人
撮影 山崎善弘
美術 千葉一彦
編集 辻井正則
音楽 黛敏郎 Toshiro Mayuzumi
出演 轟夕起子 登代
大坂志郎 市松
長門裕之 令吉
中原早苗 宏子
吉行和子 久子
葉山良二 一夫
原ひさ子 スミ
殿山泰司 成次
新井麗子 まき
渡辺美佐子 辰江
吉川満子 つね
相馬幸子 妻
峯品子 金魚
小泉郁之助 コーヒー店主人
井東柳晴 坊さん
江上トミ T・Vの女史

